

交通指導員が県交通安全功労者永年表彰を受賞



左から小野将一さん（滝水）、川野壽洋さん（北1区）、筑紫章三さん（古城1区）

地域社会の交通安全に貢献し、顕著な功績のあった個人及び団体に贈られる熊本県交通安全功労者表彰式が6月4日、熊本市のホテルで行われ、阿蘇市交通指導員の3名の皆さんが県交通安全功労者永年表彰を受賞しました。

受賞した3名は、交通指導員として永年にわたって街頭指導やイベントなどの際の交通指導を務め、市の交通事故防止に大きく貢献したことが認められたものです。交通指導員は、毎月の街頭指導をはじめ、地元小学校で開催される交通安全教室に参加するなど、交通環境の改善、交通事故防止及び交通安全意識の高揚にも尽力し、交通安全の推進に大きく貢献しています。

ラジオ体操を通して健康への関心を高めようと5月24日、市主催による市民交流ラジオ体操祭が農村公園あびかで開かれ、近畿日本ツーリストのツアー客と市民合わせて約500人が参加しました。講師にNPO法人全国ラジオ体操連盟副理事長の青山敏彦さんと同指導委員の小野理沙さんを招き、2人組みで行う体操を、実演を交え参加

「ラジオ体操」で健やか元気に！ 市民交流ラジオ体操祭 in 阿蘇市



講師の指導（写真手前）により、2人組みになり体操をするようす。



者に指導しました。佐賀県から来たという参加者は「外で体操をするという機会はないので、とっても気持ちいいです」と、楽しみながら汗を流していました。また、この日は同施設で阿蘇マルシェも開かれ、自然に囲まれ朝ごはんを満喫する人たちが大いに賑わいました。

外国人留学生対象に 「阿蘇市をさるこう！」開催



二重峠の石畳を案内する山本孝徳氏（中央）と参加者

A S O 田園空間博物館主催の「阿蘇市をさるこう！」が4月19日、初めて熊本市国際交流会館と連携し、県内在住の留学生（13か国、約40人）を対象に開かれました。

イベントでは、車帰地区にある二重峠の石畳や大観峰を巡り、地元の人たちが阿蘇の歴史などを案内。参加者からは「初めて行った場所ばかりでよかった。」「案内人の方々のお話はとても興味深かった」など、阿蘇の魅力を存分に味わったようでした。

A S O 田園空間博物館の担当者は「留学生に各国で阿蘇の魅力を発信してもらえるよう、さらに楽しい企画を計画したい」と話していました。

差別のない明るいまちづくりを 阿蘇市人権・同和教育推進協議会総会

平成26年度阿蘇市人権・同和教育推進協議会総会が5月16日、阿蘇いこいの村で行われ、行政・学校・地域・各種団体などからなる協議会員、約130人が参加しました。

同協議会会長の佐藤市長は「誰もが『命』に係る極めて重要な人権・同和教育を、自らの課題と受け止め、その解決に向け、学校や地域、職場でさらなる啓発活動を進める」などとあいさつ。総会では、議案の審議のほか、行政、教育現場などからの人権・同和教育推進に向けた取り組みの報告等があり、今年度も各関係機関連携し、差別のない明るいまち



総会であいさつする佐藤市長

づくりを推進することが再確認されました。

阿蘇地域世界農業遺産 1周年記念シンポジウム

草原学習について発表した阿蘇中央高校の生徒



阿蘇地域世界農業遺産の認定1周年を記念したシンポジウムが5月21日、市内ホテルで開かれ、約200人が参加しました。

シンポジウムでは、世界農業遺産を活用した取り組み事例が紹介され、阿蘇中央高校の生徒5人は、草原文化の学習を通じたさまざまな取り組みを紹介。

「草原を守っていくには、知識をより深めて広く情報発信していく必要がある」と、学習成果を発表しました。

また、電気自動車と観光と環境のあり方について、熊本日産自動車(株)常務取締役の古庄雅教氏が講演し、参加者は熱心に聞き入っていました。



WebTV アソ
動画

「カメラって楽しいね！」 内牧小でカメラ講習



逆さに映る大判カメラのファインダーを覗く児童たち

内牧小学校写真クラブの児童が6月9日、阿蘇写真友会の浅久野邦雄氏（内牧5区）と石井高雄氏（内牧1区）を講師に招き、指導を受けました。

写真への興味を持ち、レンズを通してものの見方を考える機会をつくろうと企画しました。

参加した児童は「阿蘇のきれいな風景写真を撮れるように頑張りたい」と意気込んでもいました。

もので、ビューカメラと呼ばれる昔の大判カメラを使い、カメラの仕組みを学んだあと、校庭で、思い思いに撮影に臨みました。



WebTV アソ
動画

コミュニティ助成事業で 深葉地域に防災資機材を整備



地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を図ることを目的としたコミュニティ



助成事業により、深葉地域に発電機や投光器など自主防災活動備品を整備しました。

この事業は、宝くじの社会貢献広報事業費を財源として財団法人自治総合センターが助成を行うものです。深葉地域は、市役所（内牧支所）から相当の距離があるため、自主防災組織による活動が大変重要になります。そこで活動に必要な発電機や投光器、また担架などの資機材を整備したものです。

救助・避難誘導活動など迅速な防災活動に多いに役に立つと期待されます。



副市長らに花束を手渡した園児の皆さん

赤水保育園の園児が “花の日” に合わせ花束を贈呈

6月第2日曜日の花の日に合わせて、熊本YMCA赤水保育園の園児20人が6月11日、市役所を訪れました。

園児は「いつもお仕事お疲れさまです。お仕事頑張ってください」と、家から持ち寄ったカスミソウやトルコギキョウなど色鮮やかな花束を職員に贈りました。

花束は、地元商店や交番、郵便局などにも届けました。